

米 国 U.S.A.

■前進する大学女子バスケット界■

NCAA（全米大学体育協会）では、女子バスケットボール1部リーグのトーナメント参加チームを、今までの40チームから48チームに増やすことになりました。これは、1982年から1988年までの6年間で、参加者が5万6300人から12万2000人と2倍以上にもなったことに応えたもので、来年から適応される予定です。

新たに8チーム加わることで、1回戦を、参加チームのホーム・コートでできる機会が増え、全米各地ですばらしい試合を見ることができます。実際、観客数も平均4000人だったのが、今年は1回戦だけで1600人にもなっている所があります。

「現在、試合の行われていない地域でトーナメントを開催することは、有望な選手を発掘できることにもつながります。また、男子のトーナメントにも、何かしらの影響を及ぼすのではないでしょうか」1部リーグ委員のホランド女史はこう語っています。

CBSテレビは、150万ドル（約1億9200万円）で向う3年間の決勝戦の放映契約をしました。今まで男子におされ気味だった女子バスケットも、色々と話題をよびそうです。

韓 国 Korea

■これからは、みんなのスポーツ■

ソウルオリンピックという大仕事を無事に終えた韓国スポーツ界の、これからの目標は何なのでしょう。以前、この機関紙のインタビュー欄に登場していた女性スポーツ界のリーダー、韓良順さんにうかがってみました。韓さんは、オリンピックでは開会式実行委員会に体育界を代表して唯一の女性委員として参加しています。

「オリンピック開催の目的は第一に平和運動、第二に青少年教育です。そして、一般の人に対しては、スポーツへの認識を深めてもらうことです。私たち韓国スポーツ界の指導的立場にある者にとっての最終目標は『スポーツ・フォー・オール』（みんなのスポーツ）なのです。これは、地域社会のためになることはもちろん、将来はチャンピオンを目指せる素質を持った若者を見つける糸口にもなります。」

韓国ではオリンピックに向けて、一枚1千ウォン（約180円）の宝クジを出しましたが、大会の後は『オリンピック券』という名を『体育券』に変えて、国民のスポーツ振興の財源を確保することになっているのです。

韓国スポーツ・フォー・オール会長でもある韓さんの、これが最後の大事な仕事だそうです。

もっと気軽に、人とスポーツ

CENTRAL
CENTRAL SPORTS

全国に110ヶ所、会員数約25万人と日本一を誇るセントラルスポーツ。

セントラルスポーツ株式会社

本社/〒105 東京都港区東新橋1-2-20 TEL.03.(572)2801(代)
西日本営業本部/〒659 兵庫県芦屋市船戸町4-1 ラポルテ5F TEL.0797.(23)3355(代)
北日本営業本部/〒980 宮城県仙台市青葉区五-12-10 TEL.022.(273)5531(代)

セントラルスポーツ株式会社
石田ゆり子